

男女共同参画都市宣言関連事業

男女共同参画都市宣言記念講演会

令和3年度は、男女共同参画都市宣言を記念する講演会を9月に開催しました。

- ◆日時：9月23日（木 祝日）
10:00～12:00
- ◆会場：福津市役所別館1階大ホール
- ◆参加者：42人
- ◆演題：「弁護士はミタ！それぞれの男女の幸せのカタチ～あなたがあなたらしく生きるために～」
- ◆内容：法律家の視点から見えてくる男女共同参画の問題など
- ◆講師：春田 久美子さん
（元裁判官、福岡エクレール法律事務所弁護士）

講師の春田さんは、「弁護士はミタ！それぞれの男女の幸せのカタチ～あなたがあなたらしく生きるために～」と題して、法律家の視点から、暮らしの中で起こっている身近な問題や裁判によって解決・改善された事例などについて話をされました。



自己紹介の後、弁護士が使用しているバッチと裁判官が着用している法衣の黒色について、解説がありました。

バッチは「自由と正義、公平と平等の象徴」で、法衣の黒色は「何色にも染まらない」という中立・公平を表しているとのことでした。



身近な法律問題の事例として、学校の校則問題では「好きでもない髪型を強制するのは人権問題」という声の高まりから、男子学生の髪型は丸刈りに強制されることが減ってきました。

また、顔にけがを負った交通事故の裁判では、補償額に男女差がありました。判決によって男女差がなくなったという事例が紹介されました。

一方、男女共同参画が進んでいない事例として、日本の共働き夫婦の家事・育児時間は国際的に見ても男女格差が非常に大きいことや、女性は妊娠・出産をすることで職場でのキャリアを断念するという状況がいまだに存在することも指摘されました。

最後に日々の暮らしの中で気付く違和感や理不尽なことに対して、諦めずに「見直すこと、行動すること」と助言されました。参加者からは「難しい法律問題をわかりやすく説明いただき、大変参考になった。」や「見直したり、考えたり、声を上げたりすることが大事なことがよく分かりました。」という感想があり、好評をいただきました。

「男女がともに歩む」一行詩 優秀作品

小・中・高校生の「男女がともに歩む」5
一行詩優秀作品の表彰を、12月4日（土）
の人権講演会の冒頭に行いました。
（※学校名・学年は令和3年度現在）

【小学生の部】

- ^{ごとう そら}後藤 美空さん（勝浦小学校5年）
「自分らしく」 一人一人が個性もって
明るい世界へ
- ^{おかざき ももな}岡崎 桃奈さん（上西郷小学校5年）
性べつなど 関係ない
自分らしく過ごそう
- ^{よしざき けんしん}吉崎 謙迅さん（神興小学校4年）
それぞれ すきなもの ぜんぶいいね。
- ^{さかぐち はるか}坂口 遥海さん（神興東小学校6年）
男女共に 支え合い つくっていこう
いい町を
- ^{わだ みさと}和田 美里さん（津屋崎小学校5年）
わたしはわたし あなたはあなた だから
広がる多ようせいの世界
- ^{たけわ あすか}武輪 明花さん（福間小学校4年）
決めつけず 自分らしく 生きていこう
- ^{しみず ゆき}清水 佑季さん（福間南小学校5年）
性別に やりたいことを じゃまさせない

【中学生の部】

- ^{いまたう かなと}今任 奏斗さん（津屋崎中学校3年）
目指すのは 男女が共に 協力する社会
- ^{なかやま ちさと}中山 千聡さん（津屋崎中学校3年）
男だから、女だから、そんな理由で諦めた
くない夢がある。

- ^{いしい あおい}石井 葵陽さん（福間中学校3年）
山へしばかり、おばあさん
川へせんたく、おじいさん
- ^{たなか はるき}田中 大輝さん（福間中学校3年）
男だけの甲子園 だけどそれがなくなった。
女子もプレーができる甲子園。共に歩む一
歩に
- ^{いわさき ひろき}岩崎 弘樹さん（福間東中学校3年）
僕がやる 私がやる いっしょにやろう
- ^{ひじや ここな}泥谷 胡々菜さん（福間東中学校3年）
家事・育児 「手伝う」ではなく「共同」で

【高校生の部】

- ^{うえの かのん}上野 花音さん（光陵高校1年）
女らしく？ 男らしく？ だから私は自分
らしく
- ^{きたの みつき}北野 光希さん（光陵高校3年）
「男のくせに 女のくせに」 それってただ
の先入観
- ^{はやかわ ゆきな}早川 幸那さん（光陵高校3年）
それぞれの 歩幅は違えど みな平等
- ^{はなだ けんと}花田 剣人さん（水産高校1年）
男女で協力 疲れは半分 幸せは無限大
- ^{つつい しげる}筒井 繁さん（水産高校1年）
男らしくとか 女らしくとかじゃなく
自分らしく生きたらいい。

- ^{よこやま はじめ}横山 春萌さん（水産高校1年）
異性の目を気にせずに 貴方は貴方の色を
出して あざやかなパレットを 作りだせ

「男女がともに歩むまちづくり」 推進モデル

家庭、地域、職場、学校などで「男女がともに歩むまちづくり」を積極的に進めている市民や団体、事業者などを「推進モデル」として推奨しています。

推奨式を、12月4日（土）の人権講演会の冒頭に行いました。

◆福津市商工会女性部

《推奨理由》

福津市商工会女性部は、市商工会会員の配偶者や女性経営者約90人で構成される団体です。福津市誕生前の旧福間町及び津屋崎町商工会時代から、地域活動を継続しています。

部員の感性や力を生かし、地域の振興・発展への協力と推進を部員一丸で行っています。

例えば、プリンセス駅伝前日の清掃活動や福祉施設への花の寄贈などのボランティア活動、祭りやイベントでの売り上げの一部を盲導犬育成募金や女性部活動推進基金に寄附するなどの活動を行ってきました。

コロナ禍以降は、「今、ミンナでできる事」「今こそ、思いやりのある行動で地域に安心を」と、除菌グッズの配布など事業者や地域への支援を積極的に行っています。

女性が地域活動などに主体的に取り組まれていることから、市の男女共同参画の活動のモデルケースとして、今後も活躍が期待される福津市商工会女性部を、市では男女がともに歩むまちづくり推進モデルに推奨します。

